

梅鶯仏教壮年

第69号
2009年
4月19日

梅鶯仏壮新会長に

北村新一郎氏

去る3月28日に梅鶯仏壮総会が開催され、新会長に北村新一郎氏が選出されました。任期は平成24年3月末までの3年間。
なお、その他の役員についても、つぎの通り選任（任期3年）されました。

副会長 田中善博氏
副会長 森 勝昭氏
会 計 北村幸雄氏
監査役 田中直樹氏

*平成21年度の梅鶯仏壮年間行事
予定は、次号に掲載致します。

次回例会

5月30日(土)
午後7時より
皆さん
ご参加下さい

平成21年度 梅鶯仏壮総会

インド仏跡巡拝の旅 最終回

― 釈尊の聖地を訪ねて ―
副会長 森 勝昭

2月8日（最終日）

5時起床、朝食なしで、6時出

発。この旅行の最後の楽しみにして
いた、ヒマラヤ遊覧飛行であつた
が、早朝より6,000㍎、8,000
00m級の山々が雲（霧）で見え
ない。一寸心配だつた！
0フライト時間約1時間、米ドル
200ドル、円で約2万2千円、
オプショナルツアー全員参加の予定
であつた。
2とにかく飛行場まで行き、仲間
と5名が30分ほどテスト飛行す
るが、悪天候の為に中止となつて
しまつた。残念！
な再びホテルに戻つて朝食、み
で3日間晴天に恵まれた（二日も
続くことないらしい）、そう思え
ば、時間が増えた。ヒ
に、世界遺産のヒ
ンズ―教寺院、パ
ンユパティナート
に参詣した。ト
今旅行も全行程
（ヒマラヤ飛行除



世界遺産 パンシュパティナート寺院

く）― 予定通りみんな元気が出
多い旅を終了する元気が出来た。
で瓜生津先生の元氣な説
明を車イスに乗つて
死力を尽くしての代案
内であつた。次の世代
へつなげようとの意
気込みを肌で感じら
れ、感謝の気持ちで
いっぱいであつた。

インドの旅2回目であつたが、何
か不思議な思いや躍動と生活感
を感じ、半島を経由して、又は海を越
えて、お釈迦様の教えを伝え、こ
のお人の特に七高僧の方々、多く
の先人の苦勞を思ふ時、今まで自
分は何をして来たのか、何が出来
るか、と何をするのか、何が出来
す。

六シルクロード（絹の道）、釈尊
の自らの巡拝した道が、これか
であつた事を大切に思ふ。行
きた法は若い時に心がけて
て聞けをモットウにして
歩き続けます。

合掌



瓜生津隆真

題材法話

方一尺の天地
水馬（みずすまし）
しきりに円を描ける
なんじ、いずこより来たり
いずこへ旅せんとするや？
へい！ 忙しおましてな！

農民詩人の「水馬」という詩であります。

この詩は、大谷光真門主
も「朝には紅顔ありて」と
いう本の中で取り上げてお
られますが、なんと詠んで
も、なんともしえぬおもし
ろさと味わい深さがありま
す。

「一方一尺の天地」といっ
た格調高い言葉で始まりな
がら、最後に「くつと関西
弁になるところなどは、な
んとも軽妙で面白いので
が、やはりそれ以上に、私
たちが人間の本质を言い当
てるところに、味わい深い

いものを感じます
「一方一尺」とい
ら、約30センチ
四方ほどの水たまり
です。その中で
水馬が一生涯懸命に
くるくると円を描



ている。

それが一生懸命動き回っているが、一体おまえはどこから来て、どこへ行くとうとして

「へい！ 忙しいおましてな

「どこから来て、どこへ

「行こうとするのか？」とは一番大事な命の問題を聞いているのです。

ところ、わずか30センチ四方の中にいる水馬にとっては、そんな命の問題

よりも、今ぐるぐると円を描く事の方が大事なのだと

○「水馬」に自分を見る

この水馬、どうしてもひとごととは思えません。

おいて、この地球はほんの
 点にもならない存在です。
 そんな点にもならない地

球の中で、この私
は「好きだ、嫌い
だ」「損だ、得だ」



「と、円を描き廻
っているのです。
ある字が飛上



は、宇宙から地球を見て、

「地球には国境線はなかった」と言いました。

や地球儀には必ず国境線があります。

線であり、その線によつて自ら争い、憎しみあい、苦しんでいるのです。

水たまりの中で、それが全
ての世界だと思いこみ、た

の目から見れば、あわれそのものです。

けれども、みずすましを
あわれんでいるこの私も、
仏さまから見れば、「愛欲

の広海を流転せる煩惱具足の凡夫、出離の縁あることなし」と、あわれみ、悲し

み、嘆かれています存在なの
ミ。○
○仏の智慧に照らされて

仏教・南無阿弥陀仏のみ
教えは、まず私にそのよう
な存在であること

を気付かせよう
とする教えな
のです。

そこに気付かさ



せて頂くところに、初めて

私のいのちの行き先が見えてくるのです。

そのことに本気で気付く

ことが出来るか、まだ気付くことができないかでは、大きな違いがあるので。

ぐるぐると円を描くだけ
の世界にとられすぎてい
れば、欲のために平気で人

をだましたり、人を傷つけたり、あげくのはてには人を殺めることさえあるので

最近の信じられないような事件を見るにつけ、つく

みんな命の問題を置き去りにしてしまい、「へい！

「忙しいおましてな！」と目先の欲得にとらわれてしまっているのです。互いにあや

九州の博多・万行寺とい

う寺の住職に 七里恒順と
いう勧学さん（勧学とは真
宗の最高の学者）がおられ

ました。その七里和
上にこんな話があり
ます。以下次号

総会住職話より

以下次号
総会住職法話より

